

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

呉市立郷原小学校

- 1 私たちは、郷原っ子を責任持って預かり、守り育てます。
- 2 私たちは、郷原小職員としての誇りと自覚を持って行動します。
- 3 私たちは、法令等を遵守し、不祥事を絶対に起こしません。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○他校で起きた事案に対して、当事者意識が持ちにくい。 ○服務研修の内容がマンネリ化し、規範意識の確立に結びつきにくい。 ○整理整頓に波があり、多忙になると机上が乱れる時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○服務研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修を実施して研修効果が実感できるようにする。 ○机上整理の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近に起こりうる事例の資料を開発したり、収集したりすることで、研修の充実を図る。 ○交通事故では警察等の外部講師を招聘するなど、専門的な立場から指導を受ける。 ○全ての教職員を対象に服務研修について検討を行い、方法や内容等を改善する。 ○毎週月曜日及び意識の低下がみられる時、主任・管理職による啓発をする。 ○机上整理、業務の能率的な進め方に係る研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事防止委員会で研修資料など研修内容と方法の確認を行う。 ○年度末に服務研修についての意見交換を行い改善を図る。 ○毎月1回、不祥事防止委員会で状況把握と徹底方針を確認する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事に対する職員間での危機管理意識が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員同士のコミュニケーションや「報・連・相」をさらに促進し、より風通しのよい職員集団にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事防止委員会で身近な「ヒヤリハット」を出し合い、職員相互の危機管理意識を高める。 ○管理職を中心に、校内巡視を毎日行い、児童・職員の小さな変化や気になる状況を把握し、速やかに対応する。 ○自己申告の管理職との面談の際に、体罰・セクハラ等について話題にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○月に1回、不祥事防止委員会で情報交換を行う。 ○児童・職員の状況について改善点を職員朝会や連絡会で指導する。又、急な出来事については、臨時職員会議等をもつ。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」への相談件数が0である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりや行事予定等で明記し、保護者等に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○学級懇談会や個人懇談会において、保護者から体罰、セクハラについて聴取する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年3回、児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。 ○学級懇談会や個人懇談会における保護者からの聴取記録を作成する。

